



令和6年度 兵庫県立大学 生涯学習公開講座

看護教員・指導者のための

『シミュレーションを使った災害看護教育・訓練』講座

日時:令和6年9月12日(木) 10:00~17:00

受講者数:26名

会場:兵庫県立大学明石看護キャンパス 地域ケア開発研究所3階演習室

講師:増野園恵(地域ケア開発研究所教授) 林知里(地域ケア開発研究所所長・教授)

本田順子(地域ケア開発研究所教授) ムゼンボ バシルア アンドレ(地域ケア開発研究所教授)

○テーマ・概要

看護教育者・教育的立場にある看護職を対象とし、近年、看護教育でも関心の高まっているシミュレーションを用いた教育・研修プログラムについて、講義と災害対応に関する机上シミュレーション演習の体験およびシミュレーション・シナリオの作成に関するグループワークを通して学ぶ。

○内容

1. 講義：災害看護教育・訓練に用いるシミュレーション教授法

シミュレーション教育とは何か、シミュレーションによって習得できる能力や活用するトレーニングの種類、また災害看護の領域で用いることができるシミュレーション・トレーニング、シミュレーション教育におけるディブリーフィングとそのポイントを講義した。

2. 演習体験：シミュレーションを用いた教育・訓練の実際

受講者には、災害看護教育・訓練におけるシミュレーションの活用をイメージできるよう、3つの異なるシミュレーション演習-Aエアストレッチャー搬送(タスクトレーニング)、B台風・洪水シナリオ(メンタル・机上シミュレーション)、C大規模災害対策/病院CSCATTT(机上シミュレーション)を学習者として体験してもらった。

3. 講義：シミュレーション・シナリオの作成方法

シミュレーション・シナリオの作成の具体について、作成段階ごとに必要な活動およびポイントを先に体験したシミュレーション演習を例にしながら講義・解説した。

4. グループワーク：シミュレーション・シナリオ作成

グループに分かれ意見を交換しながら、職場で実施するシミュレーション訓練についてシナリオデザインシート等を活用しながらシナリオの作成に取り組んだ。

